



市議会うんなん

no.29
2012.4.20



松江自動車道 吉田掛合 IC～三刀屋木次 IC 開 通

3月17日 開通イベントで走る杉原加代選手(左)

平成24年 3月定例会

- 3月定例会報告 2
- 平成24年度予算のあらまし、新規・拡充事業の主なもの 3～4
- 主な議案と結果 5
- 請願・陳情 審査結果 6
- 委員会報告 総務常任委員会、教育民生常任委員会、
産業建設常任委員会、予算審査特別委員会 6～8
- 代表質問 8～9
- 一般質問 10～15
- 議会報告会 16



議員定数24人から22人へ

3月定例会 全議案を可決

3月定例会は3月1日から3月23日までの会期で開催し、条例案34件、一般事件7件、同意事項3件、報告事項13件、事務の受託1件、補正予算案10件、新年度予算案13件が上程され審議を行ないました。議案はいずれも原案のとおり可決しました。

最終日には、議員発議による議員定数条例の改正とそれに伴う常任委員会における委員数の変更を採決しました。また、意見書1件を採択しました。

(市長の所信表明)

財政非常事態宣言を解除

定例会初日の市長所信表明で、24年度の市政運営にあたっては、「安心・安全」「活力と賑わい」「健康長寿・生涯現役」の3点を重点に掲げ、取り組むとの表明がありました。また、24年度当初予算では、基金の繰入を行わず編成し、収支均衡を達成したこ

とから、平成17年度に発せられた「財政非常事態宣言」を解除する旨の表明がありました。

(代表質問・一般質問)

代表質問には3会派が、一般質問には14名が質問に立ちました。

松江自動車道の開通と観光振興、総合センターの縮小、市立病院の改築や医療と保健の融合による健康づくり拠点整備など市の将来に大きく影響する課題が取り上げられ、執行部の考えを質しました。

なお、代表質問への市長答弁の中で、11月改選の市長選挙について、3期目への出馬表明がありました。

議員定数は22人に決定

(経過)

議会では、昨年3月に議会機能のさらなる充実強化を図るため、議会改革プロジェクトチームを立ちあげ、これを中心に全議員で次期改選時(今年11月)の議員定数についても検討を重ねてきました。また議会報告会を通じて市民の

皆様からもさまざまなご意見をいただきました。

(議員発議と採決)

現行24人の定数を22人に改正する案(7名の議員が提出)と20人に改正する案(2名の議員が提出)が発議されました。

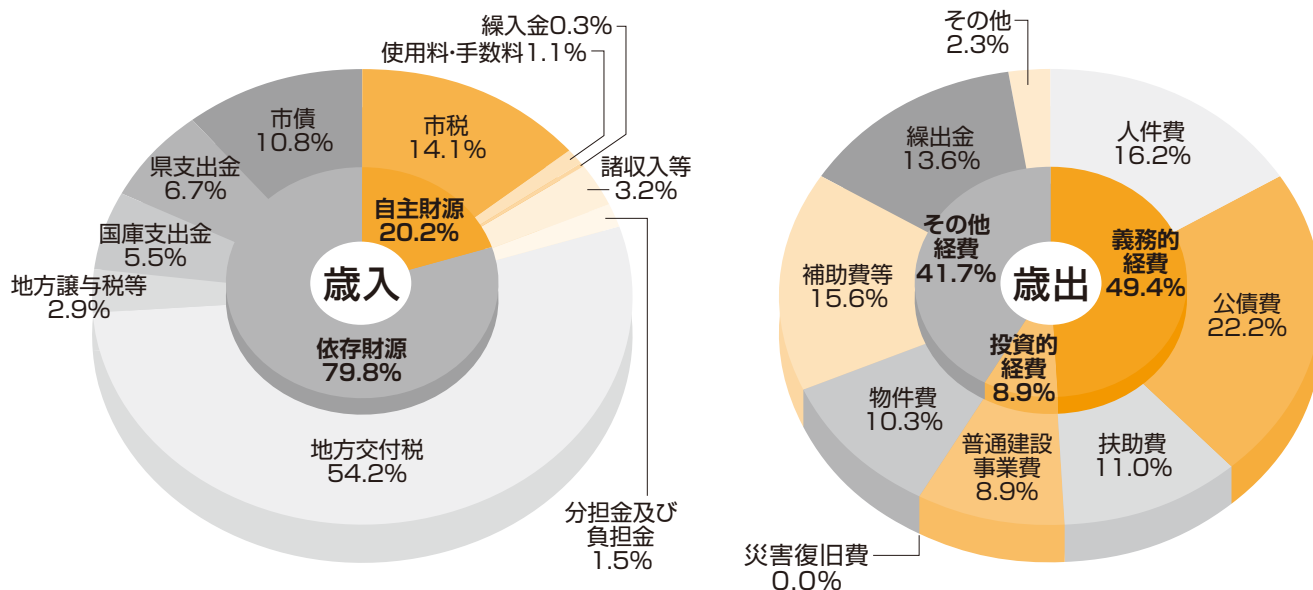
主な提案理由は、22人案は、現在委員会審議を中心に議会運営を行なっており、1委員会7名以上の委員構成が審議の活性化・充実には必要であり、3委員会プラス議長がふさわしいというものです。一方、20人案は、厳しい財政状況と人口減少に議会としても対応すべきというものです。

質疑の後、それぞれの案に対する反対討論と賛成討論があり、より多くの多様な市民の声を反映させるには現行の24人のままでよいとすべき意見もありました。

そして22人案に対しての起立採決があり、賛成多数で可決されました。(賛成16、反対5)

平成24年度予算のあらまし

一般会計



一般会計

※%は前年度比です。(▲はマイナス)

歳入	274億9,000万円	3.8%
自主財源	54億9,270万円	▲2.4%
市税	38億7,206万円	1.6%
使用料・手数料	3億596万円	2.4%
繰入金	8,804万円	▲75.9%
諸収入等	8億1,462万円	16.9%
分担金及び負担金	4億1,202万円	▲9.1%
依存財源	219億9,730万円	4.4%
地方交付税	149億900万円	2.4%
地方譲与税等	7億9,248万円	▲4.7%
国庫支出金	15億206万円	▲10.8%
県支出金	18億3,336万円	7.0%
市債	29億6,040万円	29.8%

歳出	274億9,000万円	3.8%
義務的経費	135億5,279万円	▲1.3%
人件費	44億4,377万円	▲2.3%
公債費	60億9,413万円	▲1.9%
扶助費	30億1,489万円	1.4%
投資的経費	24億6,028万円	35.1%
普通建設事業費	24億5,923万円	35.2%
災害復旧費	105万円	0.0%
その他の経費	114億7,693万円	3.0%
物件費	28億2,560万円	▲7.3%
補助費等	42億8,935万円	10.2%
繰出金	37億2,493万円	3.3%
その他	6億3,705万円	▲6.9%

特別会計

会計名	予算額	増減率
国民健康事業勘定	46億1,400万円	6.2%
保険事業掛合診療所	1億1,230万円	▲2.1%
後期高齢者医療事業	10億1,870万円	3.3%
農業労働災害共済事業	520万円	▲3.7%
簡易水道事業	4億5,730万円	▲33.2%

会計名	予算額	増減率
生活排水処理事業	24億520万円	▲4.1%
財産区	77万円	▲24.7%
土地区画整理事業	2億1,430万円	▲66.3%
ダム対策事業	6,480万円	▲35.3%
清嵐荘事業	3,240万円	4.5%

企業会計

会計名	予算額	増減率
水道事業	収益的支出	7億7,983万円 ▲0.1%
	資本的支出	4億7,594万円 ▲15.6%
病院事業	収益的支出	42億995万円 0.3%
	資本的支出	3億7,742万円 ▲18.6%

会計名	予算額	増減率
工業用	収益的支出	1億1,498万円 35.8%
水道事業	資本的支出	1億1,036万円 86.5%

新規・拡充事業の主なもの

平成24年度一般会計は、基金の繰入を行わない収支均衡の予算編成がされました。

施策としては、「安心・安全」、「活力と賑わい」、「健康長寿・生涯現役」の3点を重点に市民が主役のまちづくりの推進、地域情報化の推進、高速・広域交通網の整備、地域医療の充実、障がい者福祉の充実、地域文化の振興などの事業費が増額となりました。

環境に配慮した 安全・快適な生活環境づくり

- ・雲南広域連合の雲南消防への消防救急無線デジタル化整備事業負担金 ……8,151万円
- ・携帯電話等エリア整備事業として六重奥山(三刀屋町)、芦谷・曾木北・曾木南・明山(吉田町)、滝の上・福田(掛合町)7カ所整備 ……2億100万円
- ・国道54号4車線化に伴い市道の測量設計業務及び用地補償を実施 ……2億9,440万円

市民と行政の協働による まちづくり

- ・総合特区制度の指定を受け、たたら山再生プロジェクトの推進 ……500万円
- ・29の交流センターへ従来の活動経費や地域振興補助金を交付金化して交付 ……1億7,868万円
- ・多根生活改善センターの老朽化に伴い、解体撤去し新たに建設 ……1億3,550万円

賑わいあふれる雲南市

- ・木質バイオマスエネルギー導入に係る施設等の整備及び運営等の経費。波多温泉満寿の湯へのチップボイラー設置工事の設計委託料及び工事費 ……5,546万円
- ・地域商業の機能の維持・向上を図るため、中小商業者が行う事業に対する助成と企業経営支援のための地域振興巡回員を配置 ……756万円

地域で支えあう暮らしづくり

- ・市民バスの優待回数乗車券による高齢者・障がい者等へのタクシー利用料金助成の新設 ……651万円
- ・入所児童数増による斐伊保育所及び三刀屋保育所の施設整備 ……4,605万円
- ・ドクターヘリ臨時離着陸場の整備 ……850万円

推進計画・その他

- ・新庁舎建設の基本設計・地質調査等、用地買収・補償費 ……2億7,035万円
- ・名誉市民顕彰の式典 ……101万円
- ・雲南市長及び雲南市議会議員一般選挙(11月)の執行経費 ……4,996万円

ふるさとを愛し豊かな心をはぐくむ 教育と文化のまちづくり

- ・耐震化工事の耐震補強設計。大東・阿用・斐伊・久野小学校分 ……2,100万円
- ・菅谷たたら山内の施設保存修理費、設計監理委託費、保存整備検討委員会経費等 ……9,090万円

■ 投資的事業の主なもの

一般会計

(単位：千円)

介護基盤緊急整備事業	市が公募し地域密着型サービス開設事業者へ施設整備の補助金	90,000
森林整備加速化・林業再生事業	市有林等の間伐、路網整備等の経費	12,000
林道開設事業	三刀屋町の林道茂平山深谷線開設事業L=900mを実施	47,200
公社造林受託事業	県林業公社との分収造林契約に基づく森林整備の経費	82,189
基幹農道整備事業負担金	県営萱野根波地区・県営幡屋地区農道整備事業負担金(負担金10%)	28,000
市道道路整備事業	社会資本整備総合交付金及び市債等で市道改良事業を実施	442,000
国県道整備事業負担	島根県が実施する県道改良事業に伴う雲南市の負担金	45,000
高速道路整備関連事業	尾道松江高速道路に関連した吉田町の市地域活性化施設への市道整備	50,800
公営住宅整備事業	澄水団地1号棟 屋上・外壁の改修	32,100
消防施設整備事業	防火水槽2基設置、小型ポンプ付積載車2台更新、消防器庫修繕	31,647

特別会計

簡易水道建設改良事業	新掛合配水池の完成により、既設の配水池の取壊し	9,000
生活排水処理施設整備事業	合併浄化槽設置や汚水管理設工事	231,669
土地区画整理事業	大木原土地区画整理事業、丸子山周辺土地区画整理事業分	177,150
ダム湖周辺整備事業	さくらおろち湖周辺案内サイン設置工事、道の駅広場整備(緑化)	7,450

主な議案と結果

【条例・規約】	採決結果	採決状況
公有地の拡大の推進に関する法律施行令第3条第3項ただし書の規定による規模を定める条例の制定	可決	全会一致
UIターン促進のため住宅（空家）を市が貸し付ける事業のための条例制定	可決	全会一致
地域委員会設置の条例改正	可決	全会一致
市民バス運行に関する条例の改正（高齢者・障がい者への助成に関する部分）	可決	全会一致
大東交流センターの地番変更による大東交流センター条例の改正	可決	全会一致
消防用水利整備の地元分担金見直しによる条例改正（消火栓は分担金なし）	可決	全会一致
暴力団排除条例の制定	可決	全会一致
市長・副市長の給料減額のための条例改正	可決	全会一致
教育長の給料減額のための条例改正	可決	全会一致
職員の特殊勤務手当を支給を停止する条例改正	可決	全会一致
任期付研究員の給料改定による条例改正	可決	全会一致
プロポーザル方式受注者選定委員会条例	可決	全会一致
市税条例の改正	可決	全会一致
環境審議会委員の定数等見直しによる条例改正	可決	全会一致
身体教育医学研究所うなん条例の改正	可決	全会一致
養護老人ホーム入所判定委員会条例制定	可決	全会一致
掛合診療所の土曜診療を行わない週の変更と、波多診療所の休診日の変更による条例改正	可決	全会一致
児童クラブ変更による条例の改正	可決	全会一致
かじか荘（大東町）営業終了に伴う条例の廃止	可決	全会一致
高速バス停留所「木次バスストップ」を「木次高速バスストップ」と名称を変更するための条例改正	可決	全会一致
市営住宅条例の改正	可決	全会一致
大木原（大東町）の広場の所在地変更による条例改正	可決	全会一致
吉田小学校民谷分校の閉校に伴う条例改正	可決	全会一致
阿用幼稚園・久野幼稚園の閉園等による条例改正	可決	全会一致
学校給食調理業務等委託評価委員会設置のための条例制定	可決	全会一致
木次社会体育施設運営審議会設置条例の廃止	可決	全会一致
図書館法の改正に伴う市立図書館条例の改正	可決	全会一致
下水道事業に関する審議会条例の制定	可決	全会一致
場外馬券場の名称変更による場外馬券場対策基金条例の改正	可決	全会一致
梅木公会堂（吉田町）を地元自治会へ譲渡することによる集落集会所条例の改正	可決	全会一致
清嵐荘設置及び管理条例の改正	可決	全会一致
奥出雲・飯南町の養護老人ホーム入所判定委員会に関する事務の受託	可決	全会一致
携帯電話通信用鉄塔設置による条例の改正	可決	全会一致

【一般事案・同意】	採決結果	採決状況
市道路線認定 月田廻線（大東町）外 9 件	可決	全会一致
市道路線変更 桃木線（吉田町）外 6 件	可決	全会一致
市道路線廃止 下布施線（木次町）	可決	全会一致
道の駅「さくらの里きすき」の指定管理者の指定	可決	全会一致
吉田町生涯学習交流館の指定管理者の指定	可決	全会一致
桂荘の指定管理者の指定	可決	全会一致
掛合酒蔵資料館の指定管理者の指定	可決	全会一致
名誉市民推挙に関する同意 2 件	同意	全会一致
幡屋地区（大東町）財産区管理委員の選任に関する同意	同意	全会一致

【平成 23 年度補正予算】	採決結果	採決状況
一般会計	可決	全会一致
国民健康保険事業特別会計	可決	全会一致
後期高齢者医療事業特別会計	可決	全会一致
簡易水道事業特別会計	可決	全会一致
生活排水処理事業特別会計	可決	全会一致
土地地区画整理事業特別会計	可決	全会一致
ダム対策事業特別会計	可決	全会一致
清嵐荘事業特別会計	可決	全会一致
水道事業会計	可決	全会一致
病院事業会計	可決	全会一致

【平成 24 年度当初予算】	採決結果	採決状況
一般会計	可決	賛成多数
国民健康保険事業特別会計	可決	賛成多数
後期高齢者医療事業特別会計	可決	全会一致
農業労働災害共済事業特別会計	可決	全会一致
簡易水道事業特別会計	可決	全会一致
生活排水処理事業特別会計	可決	全会一致
財産区特別会計	可決	全会一致
土地地区画整理事業特別会計	可決	全会一致
ダム対策事業特別会計	可決	全会一致
清嵐荘事業特別会計	可決	全会一致
水道事業会計	可決	全会一致
工業用水道事業	可決	全会一致
病院事業会計	可決	全会一致

【報告】
公用車事故に係る賠償金額の専決事項（3 件）
市有施設による自動車等の破損に係る賠償金額の専決事項（4 件）
除草作業等、市業務中の事故による賠償金額の専決事項（3 件）
市営住宅家賃滞納による住宅明け渡し等の訴え（3 件）



春爛漫
木次の桜

請願・陳情

審査結果

3月定例会以前に提出され、継続審査となっていたものの結果は次のとおりです。

継続

●C56108蒸気機関車の保存整備に関する陳情書

旧ちどり会代表

尾関昌義

●保存蒸気機関車C56108解体に関する陳情書

堀江晴俊

3月定例会に提出されたものの結果については、次のとおりです。

採択

●「こころの健康を守り推進する基本法(仮称)」の制定を求める意見書採択に関する陳情

雲南地域家族会連合会

会長 青山友行

継続

●公的年金の改悪に反対する意見書提出を求める請願

全日本年金者組合

島根県本部

執行委員長 中村 照

●島根原発をなくし、再生可能エネルギーへの転換を求める陳情

原発ゼロをめざす島根の会

代表者 舟木健治



陳情の様子

委員会報告

市民バスの高齢者等優待乗車券制度の充実を

総務常任委員会
委員長 藤原信宏

(審査の総括)

付託議案17件と予算審査特別委員会委託議案11件について審査しました。審査の結果、全て原案のとおり全会一致で可決すべきものと決しました。

(主な審査状況)

・Uターン促進賃貸住宅条例の制定について

入居条件を「原則小学生以下の子どもがいる世帯」としてあるが、地域活動に積極的に参加し将来的に雲南市を担っていく世代であれば、柔軟に採用するよう求めました。

・雲南市民バスの運行に関する条例の一部改正について

高齢者や障がい者に対する優待回数乗車券制度は、2年間の実証実験だが、有効なら継続すること。また、運転免許自主返納者に対する回数券の無料交付は、オートバイを含むこと、5年間遡及すること等を確認し、自主返納促進のためにも複数回または相当額の交付を求めました。



優待回数乗車券

・消防水利整備事業分担金徴収条例の一部改正について

消火栓の地元負担金がなくなる条例であり、多くの設置要望が出るものと予想されます。水量供給能力や位置バランス等の設置基準を明確にして、緊急度を考慮し水道局と十分協議の上で、計画的な設置を行うよう要請しました。

予算については、「財政非常事態宣言は、3月末をもって解除する」旨を、予算議決後に市長自ら市民に感謝を述べて表明し、今後の財政推計を含めてしっかりと説明、周知するよう審議の冒頭で指摘しました。

業務委託の評価は外部委員で実施を

教育民生常任委員会
委員長 光谷由紀子

(審査の総括)

付託議案13件、予算審査特別委員会委託議案8件、請願・陳情4件について審査しました。

審査の結果、予算2議案(平成24年度一般会計及び国民健康保険事業特別会計)は賛成多数で、他議案及び陳情「こころの健康を守り推進する基本法(仮称)」の制定を求める意見書は原案のとおり全会一致で可決すべきものと決しました。

(主な審査状況)

・市立幼稚園設置条例の一部を改正する条例

久野幼稚園、阿用幼稚園の閉園に伴い条例から2園を削除する内容です。今後の園舎の活用については、地元協議を十分するよう求めました。

・学校給食調理業務等委託評価委員会条例の制定

評価委員会の中に委託先の調理師、栄養士が選出されているが、自らの業務を評価することは、



阿用幼稚園閉園式

疑問であるとの意見に対し、評価委員の選定には、委託先を「含める」「含めない」の2通りのやり方がある。本市は「含める」やり方を選択しているとの答弁でした。

委員会としては業務委託の検証、評価委員選定方法の見直しを求めました。

・市立図書館条例の一部を改正する条例

図書館法の改正に伴っての一部改正です。協議会委員15人以内との条例文であるが、具体的に分野別の選出先を明記するよう求めました。

市道のパトロール実施と修繕を

産業建設常任委員会
委員長 山崎正幸

(審査の総括)

付託議案12件、予算審査特別委員会委託14件について審査しました。審査の結果、全て原案のとおり全会一致で可決すべきものと決しました。

(主な審査状況)

・公の施設の指定管理者の指定について

掛合酒蔵資料館については市が寄付採納を受けた竹下登記念館と酒蔵資料館を一体的に管理する議案です。

委員からは、市の施設であり、貴重な展示品が展示してあり入館料を取ることにより付加価値をアップさせるべきとの意見がありました。

・市道の路線認定について

市道認定される下原竹下屋線は、県道改良工事によりバイパスと平行に代替道路として取り付けられ、市に管理委託された道路です。

委員からは、付近に人家が1戸しかないが市道の路線認定に適合するのかなどの質疑があり、現地視察を行い、市道の路線認定基準「土地改良事業、開発公社事業で築造及び改良された道路」に合致していると判断しました。

予算については、道路維持補修事業が対前年比で1,700万円の増額になっており、市民の意図にかなっていない。しかし、まだ十分に抑えられていないので計画的に予算計上を行い、修繕に努めるべきとの意見がありました。

また、建設部主体で、市道の状況をパトロールすべきと求めました。



掛合酒蔵資料館と竹下登記念館

実効性のある予算計上を

(審査の総括)

平成23年度補正予算及び平成24年度予算23議案について各分科会に委託し審査を行った後、予算審査特別委員会で審査を行った結果、全て可決すべきものと決しました。

(主な審査状況)

平成23年度補正予算

・大規模事業等基金について

同基金と財政調整基金が混同しないよう、明確な使途基準を設定するよう指摘しました。

・岩倉遺跡周辺整備事業の減額について

火薬庫移転補償のため9月に計上されながら未解決のため全額減額となりました。判断の甘さとともに、トップ交渉も含め早期解決を図るよう指摘し実効性ある予算計上を求めました。

平成24年度予算

・財政非常事態宣言の解除について

ホームページに「3月1日をもって財政非常事態宣言を解除した」と掲載されたが、解除宣言は市民の協力があつたからであり、議会議決後に市長名で市民に謝意を表しつつ解除宣言をすべきであると指摘しました。

・国民健康保険特別会計について

保険料について、5%引き上げの予算が計上されており、平成22年、23年を含めると20%以上の負担増となる。財政支援の強化要望に対し、医療費の増加が7%想定される中で、基金を取り崩すと残高1億4,050万円となり、今後は一般会計からの繰り入れが必要との答弁がありました。

・道路維持補修事業について

旧町単位で実情と配分額が連動しているかとの質問に対し、道路延長や人口を基本に合併時に定めたルールによる配分と、総合センター要望で対応しているとの答弁でした。現地の状況を視察・確認し予算化すべき時期に来ており、計画的修繕をすべきとの提言をしました。平成24年度はパトロールを強化すると答弁がありました。

代表質問



清風雲南
石川幸男

11月の改選にあたり市長の所見は

問い 市長には2期目の任期4年を迎えるが、所見を伺う。

市長 今日まで健全財政の確立と市民の一体感の醸成、地域資源を生かしたまちづくりを取組んできたが道半ばである。安心安全なまちづくりも行政の最大の課題。市民のご理解がいただければ、引き続き市民と行政の先頭に立ち、全力を尽くして市政運営に当たりたい。

問い 地域経済や市民に痛みを伴う財政

改革の7年間の所見と今後の方針は。

市長 地元産業の窮乏もあるが、ご理解・ご協力があつたから財政非常事態宣言の解除に至つた。平成27年度からの交付税減額には自助努力とともに交付税のあり方を国に働きかけて行く。

問い 地域自主組織への新しい支援制度は、集落課題の地域間格差を制度に反映すべきではないか。

政策企画部長 自治会数や規模に差がある

が、自由裁量の交付金活用で課題に活用可能な制度である。

問い 集落支援員の活動で個人情報、人権等の問題はないか。

政策企画部長 災害時要援護者支援等の目的のためには組織や集落での情報共有は何ら問題ないと思われている。

問い 新学習指導要領の実施方針は。

教育委員長 東日本大震災を受け、生きる力を育むから、生き抜く力や想定外の安全教育、防災教育が必要で「知・徳・体」のバランスを重視したい。

問い 大規模企業団地の整備方針は。

産業振興部長 高速道の開通、生産拠点の分散化を捉え地域経済活性化にも団地造成が必要だ。候補地を選定し、整備構想に着手する。



フォーラム志民
藤原信宏

コミュニケーション能力の育成を

問い 自主・自立の生きる力を育むキャリア教育に関して、今もっとも子ども達に求めるものは、自己を肯定し他者を尊重して、互いに個性を発揮しながらコミュニケーションを図り、協力・協働して物事に取り組む力である。野外等での体験活動を恒常的に取り入れ、自己肯定感や協調性を高めることが、コミュニケーション能力育成に大きく寄与すると考えるが、所見を伺う。

教育長 体験活動を重視しているが、学校だけでは限界がある。学校と家庭、地域、

そして行政が連携・協働しながら体験活動の機会を確保していくことが大切だ。教育支援・社会教育コーディネーターの役割は大きい。

問い 働くことの意義や夢を持つ職業観・勤労観の醸成に加えて、お金の扱い方や借金、生涯の人生プランなど、将来生活の方向性を意識付けることは、次世代の有益な育成策である。「経済教育」実施の考えはないか。

教育長 児童生徒の発達段階にに応じて金銭感覚を磨き、職業と生活との関



中学生の職場体験(加茂エネルギーセンター)

わりや経済活動の意義等を理解する学習を進めている。今後、経済教育を充実したい。

問い 少子化に伴い廃止される学校や幼稚園は、地域のコミュニケーションや防災拠点として大切な場所である。再利用、再活用についての基本的方針はどうか。

教育部長 基本的には地域の要望に基づき活用をしたい。閉校・閉園後も教育委員会が窓口となり、関係部局と連携して地元と協議を進める。



至誠
加藤欽也

安心・安全のまちづくりは

問い 1年を振り返ってみて、被災自治体の復興対応、また、復興の取り組みについて市長の所見を伺う。

市長 的確性、迅速性に問題があった感が否めない。今後は危機管理対策が最大の行政課題だ。地震防災対策については至急見直しを図る。

問い 教育・福祉施設、高齢者世帯等、どう取り組むのか。
総務部長 市内学校施設の耐震化工事は25年度で完了させる。教職員へは避難経路等再確認と安心安全メール登録の要請を行う。福祉施設の

問い 1年を振り返ってみて、被災自治体の復興対応、また、復興の取り組みについて市長の所見を伺う。

関係は、裏山等で土砂災害が発生する危険性のある施設の再確認や、災害時の情報伝達に管理者や職員、入所者の家族へ安心安全メール登録を呼びかけたい。高齢者世帯へは、災害時要援護者避難支援事業を中心に安心して暮らせる地域づくりを目指す。

問い 島根原発から30キロ圏外への避難先が割り当てられたが、避難方法・計画、訓練等の考えは。
総務部長 県を通じて避難先自治体と調整作業を進め、具体的な避難先等の検討を防災連絡会議で開

始した。防災訓練は、県、周辺市と連携し、有効な避難対策が取れるよう訓練を重ね、継続的に改善していく必要がある。

問い 定期点検で停止中の1・2号機、建設中の3号機の稼働時期が将来提示されると考えるが稼働に対するスタンスは。
市長 大前提として国が安全性の根拠を示すこと。福島原発の確かな事故収束判断を示すこと。事故原因の検証・報告・対策の説明。地元住民の同意が最も重要。

体制強化された危機管理室



体制強化された危機管理室

14名の
議員が問う

こころが聞きたい

一般質問



堀江 治之

高速道供用開始に 何を期待するのか

問 高速道尾道松江線の供用開始に伴い、市はどのような効果を期待するのか。

政策企画部長 松江

「尾道間が所要時間で約70分短縮され、企業活動の活性化、観光、交流人口の拡大に期待する。一方、マイナス効果として、ストローク現象が懸念され、両面の効果があると思う。プラス効果がマイナス効果

を上回るような対策を進めていかなければならないと考えている。

問 古事記編纂1

300年記念事業「神話博しまね」に市は何を期待するのか。

産業振興部長 市を

全国にPRする絶好の機会であり、観光振興、産業振興に大きく貢献するものと期待する。

問 原発事故の際

一般質問のページは質問者本人が作成した原稿をもとに広報委員会が編集したものです。なお、全ての質問項目を掲載してはおりません。

の一時避難先として島根県より、広島県の4市2町が紹介されたが同意したのか。

総務部長 紹介され



細田 実

具体的な避難計画 をつくるべきだ

問 東日本大震災から1年、放射能で国土と海が汚染され、ふるりに帰れない多くのの人々がいる。そういう日本の現実の中で、今後の地方自

被災、避難に対する計画など不明だ。具体的な避難計画を作るべきだ。
総務部長 現在は居住地を基本とした避難計画である。勤務

た6市町について内諾した。
問 山陰2県12市の都市連携協議会で「災害相互応援協定」締結案が提案されたが、市の取り組みの考えは。

総務部長 県境を越えた災害時の相互応援協定締結であり、雲南市として、協定締結に向け前向きに検討している。

奥出雲和牛の振興を



安井 啓

問 繁殖和牛農家が減少しつつある。体制強化の考えは。

産業振興部長 対策は急務である。中核施設により推進を図る。

問 畜産関係者との連携と人材確保は。

産業振興部長 畜産振興の推進に伴い人材確保は必要であり連携を取り進めたい。

問 JA雲南の肥育事業の縮小は奥出雲和牛の衰退となる。その対応策があるか。

産業振興部長 県有種雄牛及び繁殖センターを活用し、子牛を育て、販売頭数の維持拡大を図りブランド化を守る。雲南農業振興協議会で推

進を検討中である。

問 畜産振興に對しての市長の所見は。

市長 危機的現状である繁殖肥育販売の一貫体制が必要であり、収支計画に基づき振興を図りたい。

問 英語力タカナ言葉の氾濫について問う。市役所文書にカタカナ言葉が多く高齢者にも良く分かる文書配布を望むか。

総務部長 公用文規定に優しく美しく耳で聞いて意味が分かるようにとある。今

後の文書作成はわかりやすいものに努める。外来語は極力避け、使用する場合は説明や注釈をつけるなど、注意しながら取り組む。

● 一般質問 ●



高橋 雅彦

厳しい地域経済に

景気浮揚対策を

問 「地域経済非常事態宣言」をしなければならぬ厳しい状況にある。即効性のある住宅の新築や改良の助成制度を設けることができるか。

建設部長 21年22年に実施した住宅リフォームは経済効果として12億円程度あった。提案の事業については今後検討課題にしたい。

問 たたら再生特区として国から指定された。市民の協力を得るためにも、循環型自然エネルギー活用推進条例や有機農業推進条例など制定し、「地球を守る雲南市」を宣言してはどうか。

うか。

市民環境部長 地域省エネルギービジョン・地球温暖化対策実行計画・新エネルギービジョンなど積極的

に進めている。環境基本計画の見直しを図りながら進めたい。

問 雲南市ブランド化を確実なものにするため、農産物や工芸品、歴史ある史跡などを市が認証する制度ができるか。

産業振興部長 行政サイドでの認証制度で成功した事例が少ない。他団体の認証制度を行政が後押しする形も一つの方法と考える。

治、雲南市行政の在り方をどう考えるか。

市長 大震災や原発事故を受け、基礎自治体は安心・安全なまちづくり、住民の生命・財産を守ることが第一義と受け止め、市発展の具体策を進めていく必要がある。

問 島根県が示した原発事故の避難計画では、雲南市民は広島県の市町に避難することになった。しかし、勤務先での

地での被災の対応などは今後の計画となる。

問 総合センターの縮小は地域のさびれが広がる。住民の視点からすればサービスマスター強化が必要だ。

市長 総合センターが持っている現地解決型、行政ニーズ型の把握、地域づくり支援機能はしっかりと継承させる必要がある。



木次体育館横に展示されている機関車



板持 達夫

鉄道遺産であるC56-1108

を保存すべきだ

問 C56-1108

は昭和12年に製作され、同年木次線全線開通と同時に木次機関区に配属された。

昭和49年引退までに総走行距離163万km(地球40周分)を走破した。その後、同年11月、ライオンズクラブが費用負担し、現在の木次体育館前に設置された。維持・管理に国鉄OBの方が当たってこられたが、平成17年にアスベストが発見され、それを理由に入入り禁止の措置が取られた。それ以来、放置され今日の姿となった。そこで問う。

① C56-1108を整

備し木次駅構内もしくは木次駅周辺に整備移転をすべきだ。

② 仮にそれが不可能であれば、現在地の体育館前に整備保存すべきだ。

教育部長 昨年9月

議会会で解体撤去の方針で予算化した。今3月議会でも取り下げる。広く市民の声や愛好家の方の意見を聞かなかったことが今日の結果となった。C56-1108は歴史遺産としての価値があり、高く評価されている。今後、保存・展示について可能かどうか検討したい。



堀江 眞

早期にセシウムを含む堆肥の処理を

問 放射性セシウムを含む堆肥はどう処理するのか。

産業振興部長 J A と協議中だ。一定期間の現地保管もある。安全な農産物の供給基地として慎重な対応になっている。

問 市長は東京電力に抗議されたか。

市長 していない。J A を通じて交渉を進める。

問 繁殖センターは改善されるか。

産業振興部長 原因が確定した。雨水を防ぎ、良い環境での飼育を願っている。

問 高速の活性化施設は間に合うか。

市長 基礎杭の調査に時間を要した。早期に予算化する。

問 活性化施設維持の負担割合は。

産業振興部長 誰もが使うところは行政で、店舗部分は出店者で対応していく。出店者の過度な負担にならないようにしたい。

問 高速道工事終了を前に工事用道路の復旧や河川の被害など修復は大丈夫か。

建設部長 国に於いて維持修繕されるべき。工事委員会の意見を聞いて対処する。

問 高速道開通で吉田地区に企業誘致を展開すべきでは。

産業振興部長 震災後、西日本に拠点を移す動きがある。魅力的な立地であることを積極的にPRしていく必要がある。



「ケアポートよしだ」の水中運動



佐藤 隆 司

先延ばしの温水プール トップダウンで進めたのでは

問 平成24年・25年で計画されていた7億円の大型プロジェクト『医療と保健の融合による健康づくり拠点整備事業』が平成28年度に先延ばしされた。明確な説明が

案が拙速であった。この施策はトップダウン方式だったのか。
市長 場所はあらかじめ候補地を特定したが、検討委員会の協議によるボトムアップとの認識だ。



吉井 傳

将来の雲南市像を どう描くのか

問 激変する社会情勢の中、将来の雲南市像、あるべき姿をいかに考えるのか。

市長 「生命と神話が息づく新しい日本のふるさとづくり」を掲げ、モノから心へと地域の良さを再発見し、生きることに愛着と自信・誇りを持ち、生活が出来る市としたい。

問 実現に向けての施策は何か。

総務部長 ①安心安全 ②活力と賑わい ③健康長寿・生涯現役のまちづくりを課題とし、雲南ブランド化プロジェクト事業の推進、市民が主役のまちづくりが進行するような施策を展開していく。

問 耕作放棄地が増え、集落の存続が懸念されるが対策は。

産業振興部長 「集落の農地は集落で守る」を合言葉に、集落の実態に合った経営を目指し、将来のあるべき姿を描きながら取り組むべく推進努力をしている。そのため、耕作を担う営農組織の育成支援をしていく。

問 農業機械の更新助成や離農に伴う農地集積、農機具の有効活用、オペレーター確保等一括相談出来る窓口が必要と思うが。

市長 要望の声も聞いているので時間をいただき検討してみたい。

● 一般質問 ●



村尾晴子

学校現場での

アレルギー対策は

問 雲南保健所で

処分されるペットが
いる。動物愛護団体
と連携し、保護に努
めるべきではないか。

市民環境部長 県は

動物愛護管理推進計
画に沿って支援して
いる。市としても今
後も保健所、獣医師
会、愛護団体等と連
携をとり、処分され
る動物を減らすよう
に努力する。

問 学校現場での
アレルギー疾患対策
は推進されているか。

教育部長 保護者と

学校、主治医が連携
して情報共有し、ア
レルギー対策をして
いる。

問 学校給食での

アレルギー除去食対
応はしているか。

教育部長 卵と乳製

品について除去食で
対応している。

問 市営住宅入居

者の高齢化率と、高
齢化に対応するバリ
アフリーの状況は。

建設部長 市営住宅

における65歳以上の単
身、または夫婦のみで
の世帯は106世帯あ
り、20%。三日市住宅
や向島団地などはバリ
アフリー化の整備が出
来ている。

問 基町住宅の建

て替え計画は。

建設部長 公営住宅

の長寿命化計画を策
定し、その中に入れ
てある。

必要だ。

市長 拠点施設の意

義の理解を得るには
十分な時間が必要。
また、新庁舎・病院建
設の財政負担の平準
化を図ることとした。

問 28年度には診

療所の医師確保がで
きるのか。

市長 医師の対応が

可能になる見込みで
計画している。

問 温水プールを

加茂町に建設するこ
とが先行したがため
に、右往左往して今
日に至っている。結
果として、施策の提

問 新年度予算で、

ケアポートよしだの

高齢者転倒予防事業
予算が削減された。
健康長寿・生涯現役の
出発点はここであつ
たはずだ。加茂の拠
点施設構想により、
ケアポートよしだの
利用が縮小になるの
ではないか。

健康福祉部長 サー

ビスのメニューを変
更したための減額で
ある。市内の各施設
をサテライトとして
水中運動や屋内運動
教室により健康づく
りを進めていく。



光谷由紀子

乳幼児医療費

無料化の拡大を

問 子ども手当は

減額、年少扶養控除、
特定扶養控除廃止で
子育て世帯は大打撃
だ。一方で市は控除
廃止に伴って24年度
の市民税は8、10
0万円の増収となる。
その財源で、乳幼児
医療費の無料化を拡
大すべきではないか。

市民環境部長 対象

年齢の引き上げを小
学校卒業までにした
場合、4、000万
円程度の財源が必要
となる。子ども手当
の市負担も3%増と
なるので実施を見
送った。

問 松江市は市民

税の増収分で、小学

3年生までの無料化
を卒業までに拡大す

る。子育てするなら

雲南市「ならではの支
援を図るべきだ。

市長 夢発見プログ

ラム等で子どもが生
き生き育つように取
り組む。

問 新庁舎建設は

総合センターの縮小
見直しと併せ考え直
すべきだ。

市長 暫定庁舎は平

成13年度に耐震度調
査済だが、コンクリー
トの劣化が見られる。
検討委員会から建設
の報告をいただいた。

問 総合センター

は受付、取次ぎでは

サービス低下となる。

総務部長 市民の利

便性を考え本庁、総
合センター一体で業
務に当たる。



バリアフリー化された市民住宅



土江良治

「ボートの雲南市」を 標ぼうのできる活性化策を

問 尾原ダムは完成。これからは犠牲を払われた方々に報いるためにも活性化策が必要。県唯一の公認ボートコース存在地として、ボートの市と標ぼうのできる市にする考えはあるか。

市長 ボートの市を標榜し、まちづくりを活かしていきたい。ボート競技開始、斐伊川さくらボート協会設立10周年の三つの慶事記念が重なる今年。協会育成補助金が例年の10万円は少ないのではないかと。政策企画部長 ほとんどの団体に支出をしていないなかである。記念行事の支援の在り方については、

競技団体と協議し検討して行きたい。

問 ダム完成を契機に、経済効果と交流人口拡大を目的に、継続性ある滞在型過酷マラソンを計画・実施できないか。

政策企画部長 受け皿となる競技団体と今後検討をしたい。

問 吉田町に着工予定の活性化施設は市の南玄関でP R館。県のP R大使「吉田くん」の本籍地は吉田町。施設の命名をズバリ、「吉田くん大使館」にしては。

産業振興部長 命名については公募・非公募いずれにしても参考にした。

市長 素晴らしい提案。しかと参考にした。



さくらおろち湖でボートを楽しむ



福島光浩

木材生産、製品化体制の 戦略的整備を

戦略的整備を

問 森林バイオマス関連事業を進める上で重要なのが森林形成サイクルに合った森林整備作業と、木材製品体制の強化である。市内・近隣業者を生かした地域主

体として、5歳児検診を実施し、同時に親へ

残材のエネルギー化に市民参加型で取組みながら、経済活性化に結びつくよう様々な面から捉え、多角的に検討したい。

問 5歳児検診を実施し、同時に親へ

残材のエネルギー化に市民参加型で取組みながら、経済活性化に結びつくよう様々な面から捉え、多角的に検討したい。



周藤正志

インターネット回線の 高速化が不十分だ

問 本庁舎建設における場所の問題（浸水、液状化、狭い）への対応策や事業費の増、電算室の別棟など市民にどう説明していくのか。

総務部長 計画案のパブリックコメント実施や自治会長会等で説明していく。

問 総合センターの業務内容の具体が示されたが、サービ

市長 市民が不安を抱かない総合センターを構築していく。

問 医療と保健の融合による健康づくり拠点整備が、4年

先延ばしになった。見通しが甘かったと

言わざるを得ないかどうか。

市長 事業の意義について理解していただいていない状況にあり、説明等の拙さがあったことは認めざるを得ない。

問 市立病院の改築は、医師の確保が見通せない中、規模や事業費など慎重に対応すべきだ。

市長 今後の見込みを考慮し、24年度に基本構想をつくる。

問 インターネット回線の高速化が不十分だ。若者定住や事業活動にも影響するがどう取り組むか。

市長 企業等の需要に応えていくためにも早い対応をしていかなければならない。



山崎正幸

森林資源の総合的な活用と整備を

活用と整備を

問 民有林の隣地境界が高齢化等に伴い、年々不明確になることを危惧する。予算を確保し、地籍調査の早期完了を目指すべきと考えるがどうか。

市長 均衡ある生活基盤の整備については、しっかりと対応していきたいと思っっている。前倒しで地籍調査に取り組んでいきたい。

問 林地残材等を効率的、効果的に搬出するには路網整備が絶対必要条件であるが考えは。

産業振興部長 収集場所と積み込む場所の距離が離れていると、作業効率が大幅に低下する。路網整

一般質問

備の推進、利用間伐の推進が柱となる「森林整備計画」に沿った整備を進めていく。

問 里山の機能を低下させ、隣接する農地に悪影響を及ぼす竹林の整備についての考えは。

産業振興部長 除去対策だけではなく、新エネルギーとして活用する方法等を検討していきたい。

問 雲南市の面積の80%を占める森林の総合的な整備についての所見は。

市長 伐採・活用・植栽・保育を原則に森林整備に当たる。山林所有者の所得向上を一番に、森林整備を進める。

体のビジネス環境整備計画が必要だ。

産業振興部長 市内関係業者の連携が必要であり、生産・製材・設計・建設関連事業者とともに生産体制強化を検討する中で対応したい。

問 異業種連携によって新たな製品・商品開発が行われるよう、市場形成のための行政投資や産官学連携が必要だが取り組みの考えは。

産業振興部長 林地



整備が必要な林道

の学習機会の提供を行ってはどうか。

健康福祉部長 障がい者の早期発見の効果は高いが医師確保が難しく、実施は困難。

問 平和・人権、安心安全を掲げる市として、原発事故の被災者へ積極的な支援を行うべきである。子ども達の長期受け入れの取組み実施を求める。

市長 市内NPOからも申し入れがある。実現に向けて頑張る。

ようこそ いろいろしゃいました

平成23年度は次の市町村議会からの視察がありました。

- ・島根県江津市議会
 - ・高知県南国市議会
 - ・新潟県五泉市議会
 - ・秋田県横手市議会
 - ・栃木県大田原市議会
 - ・静岡県藤枝市議会
 - ・大阪府茨木市議会
 - ・香川県三木町議会
 - ・福岡県東峰村議会
 - ・東京都稲城市議会
 - ・兵庫県宍粟市議会
 - ・秋田県大館市議会
 - ・徳島県吉野川市議会
 - ・宮崎県日南市議会
 - ・徳島県鳴門市議会
 - ・山口県美祢市議会
 - ・北海道岩見沢市議会
 - ・神奈川県茅ヶ崎市議会
 - ・鳥取県倉吉市議会
- 【視察内容】
- ・議会報告会
 - ・教育支援コーディネートター制度
 - ・雲南ブランド化プロジェクト
 - ・保育所保育業務委託契約
 - ・太陽光発電システム
 - ・環境教育
 - ・水道事業総合整備計画
 - ・キャリア教育
 - ・夢発見プログラム
 - ・放課後子ども教室
 - ・観光行政
 - ・新エネルギービジョン
 - ・新エネルギーへの取り組み
 - ・地域振興補助金
 - ・産業振興センター
 - ・第6次産業
 - ・交流センター構想

議会報告会

「議員定数」についても伺いました

まちづくりのためには市民参加が重要です。その一環として市政に関する情報の提供や、議会活動に対する意見・提言などを直接聞く機会を求め、「議会報告会」を、各町単位で開催を続けています。

この2月に開催した報告会では、「議員定数」、「議会」、「報告会」についてアンケートを行いました。今号では「議員定数」について掲載いたします。

【大東会場】

20〜22名で検討▼20名、定数を削減しても可能である▼内容が乏しい。資質を高め、定数削減すべきである▼定数に関して住民意識と感覚が離れた感じがする▼22名でよい▼定数は20名にすべき▼20名でよいのでは▼定数は議員の資質による、資質を高めるべき

【加茂会場】

質を上げる努力を望む。少数でも対応できる策を望む。▼22名に削減すべき。

【木次会場】

18名か20名でよいと考える。さまざま条件はあると思うが、全国的な動向から可能と判断する。少数で行っている議会の問題点を明らかにすれば人数が決定できるのではないか。▼定数は20名。市職員も身を切っているの切らさず、議員も同様に身を切るべき。時代に遅れない取り組みを。▼議員の役割をわきまえているのか疑問を持った。定数はある程度の人数を確保されるべきだが

職責を担うことのできる議員でなくてはならない。▼定数の問題は議員自らの足で調査すべき。▼定数は人口が減れば削減すべき。

【三刀屋会場】

若い世代が議員に出やすいよう検討を。

【吉田会場】

定数は20名。最大でも22名。▼現状の22名からスタートすべき。▼定数は22名。

【掛合会場】

22名が良い。数よりも議会活動の充実を。▼定数にこだわらない、中身の充実を。▼24名でよい。議員が減ると、結局市民が不利になる。



今年も桜でお出迎え

編集後記

本誌が皆様のお手元に届く頃には、雲南市の名物の桜に改めて新鮮さを覚える頃になっているでしょう。

3月25日、三刀屋天満宮の筆祭りに参加しました。大切に使った筆や鉛筆を神社に奉納し、働いてくれた筆や鉛筆に感謝するとともに、学業成就を願う祭りです。肌寒い中、たくさんの子供たちが、短くなった鉛筆を奉納しました。長さ3センチほどの鉛筆が三宝に山になりました。

短い鉛筆を奉納した子は照れて「お母さんが節約・節約というから」といいましたが、お母さんは気にとめず「つふふ」と返していました。日常の中で、当たり前前のごとを当たり前前に教えていらっしゃるのでしょうか。

小学校入学の時点から、キレる、ふくれる、常識的・基本的行動がとれないなどの子どもたちが増えていくと聞きます。日々の暮らしの中で、当たり前前のごとを当たり前前に躡ける家庭教育が求められています。

ご意見お待ちしております

議会活動、議会広報、議会ホームページについてご意見やご感想などお気づきの点をお寄せください。(回答が必要な場合はご連絡先を明記してください)

あて先 雲南市議会事務局
電話:(0854)40-1004
FAX:(0854)40-1009
MAIL:gikai@city.unnan.shimane.jp

議会広報編集委員会	委員長 西村雄一郎
副委員長 高橋 雅彦	委員 佐藤 隆司
委員 周藤 正志	委員 土江 良治
委員 村尾 晴子	委員 周藤 強

雲南市議会のホームページを開設しています

雲南市議会

検索